

令和 6 年 10 月 24 日

瑞穂市長 森 和之 様

「瑞穂市第 2 次総合計画」に基づく事業評価（令和 5 年度実施分）及び「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業評価（令和 5 年度実施分）について（答申）

瑞穂市総合計画等評価審議会

会長 曾我部 雄樹



令和 6 年 8 月 29 日付け瑞政第 73 号にて諮問のありました「瑞穂市第 2 次総合計画」に基づく事業評価（令和 5 年度実施分）及び「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業評価（令和 5 年度実施分）について、本審議会により慎重かつ厳正な審査を重ねた結果、以下の結論に至ったことをご報告申し上げます。

答 申

瑞穂市総合計画等評価審議会では瑞穂市より諮問を受け、令和 5 年度に実施された「瑞穂市第 2 次総合計画」に基づく 3 事業及び「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく 2 事業について評価を行い、全ての事業で有効であったと結論に至った。

本審議会では 5 事業の全てで「有効であった」が 90%を超え、また 4 事業では満場一致であった。そのためこれらの事業は市民から十分な理解を得られたと考える。しかし事業と KPI の関連性については複数の意見があり、評価は量的指標から質的指標への転換が求められる。また事業内容にも多くの意見があり、次期総合計画の立案には反映されることを期待する。

瑞穂市は今年に入ってから人口の増加が鈍化しており (1)、また世帯当たりの人員は減少が続いている (図 1)。特に直近数か月においては転出が転入よりも多い月があり、これまでとは反対の傾向が見える (2)。そのため、今後においては国立社会保障・人口問題研究所の推計通りに進んでいくと考えられる (3)。第 2 次総合計画の目的は人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり活力ある地域を維持し、瑞穂市を誰もが未来を描ける都市にすることである。そのため現状を詳細に把握し、次期総合計画に盛り込む必要があると考える。

本審議会では種々議論が行われたが、どの意見も行政に対する期待が込められている。これらの意見を尊重し、より多くの市民、事業を営む者が満足する事業の推進を望む。

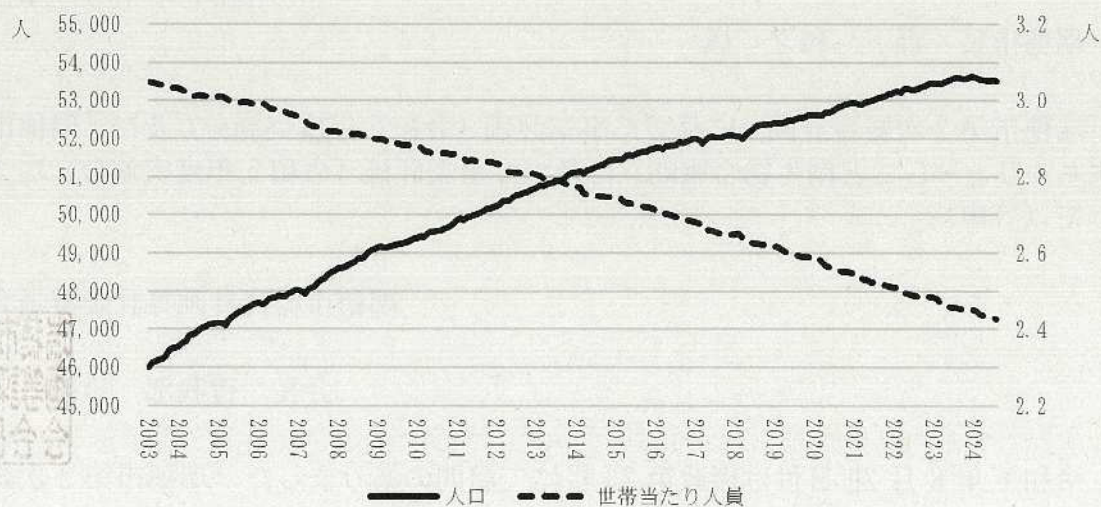


図1 瑞穂市の人口推移

- (1) 市の統計, 瑞穂市, 2024 年.
<https://www.city.mizuho.lg.jp/8616.htm> (2024 年 9 月 13 日取得)
- (2) 最新地区別人口世帯数 (2024 年度), 瑞穂市, 2024 年.
<https://www.city.mizuho.lg.jp/13178.htm> (2024 年 9 月 13 日取得)
- (3) 日本の地域別将来推計人口 (令和 5 (2023) 年推計), 国立社会保障・人口問題研究所, 2023 年.
<https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson23/t-page.asp>
 (2024 年 9 月 13 日取得)